



新庄小学校だより 6月号



学校の教育目標「主体的・対話的にくらしをよりよくしていこうとする子どもの育成」に向かって歩む子供たちの姿を掲載していきます。今月は3年生と6年生です。

仲間と共に力を尽くした運動会～6年生～

6年生にとって運動会は、自分たちの手でつくり上げる大きな行事です。特に子供たちが力を入れて進めてきたのは、応援合戦に向けての応援づくりでした。子供たちは4月から、授業の時間だけでなく、休み時間も話し合いを重ねてきました。下級生に応援の内容を伝え、練習する団活動では、回を重ねるごとに、「何を何のためにするのか」「練習の内容や時間配分をどうするか」などを綿密に考え実行するようになっていきました。また、改善点をしづらって伝えたり、学年ごとに分かれて練習したりするなど、様々な進め方の工夫が見られ、子供たちの姿から下級生をリードしていく責任感が感じられました。しかし、うまくいっていたことばかりではありません。他の団との完成度の差からくる焦り、6年生同士の熱量の差によるいら立ち…本番の姿に至るまでにはたくさんの困難がありました。その都度、子供たちは団活動を進めていく中で浮かび上がってくる課題にとことん向き合い、話し合って解決しようとしていました。



運動会後の振り返りでは、「最初は気持ちがばらばらだったけれど、本音で話し合って、みんなと向き合えたからよかったです。伝えることって大切だと思いました」「結果はよくなかったけれど、どれだけ全力でできたかが大切だと思います。全力でできてよかったです」「団活動では、いろいろな壁があったけれど、みんなで乗り越えることができたから、この団でよかったです」と語りました。小学校生活最後の運動会を通して、仲間と共にかけがえのない経験と学びを得たようです。今後もこの経験と学びを生かして、よりよい学校づくりを目指していってほしいと思います。

(6年担任)

一人一人が問題解決に向けて～3年生～



先日の運動会では、温かいご声援ありがとうございました。運動会の後には、嬉しい顔や悔しい顔も見られましたが、どの子供も全力でやり切った様子で清々しい表情が見られました。団体競技「スピード&パワー つな引きヒーローズ」では、力に自信がある「パワーチーム」と走力に自信がある「スピードチーム」に分かれ、一人一人が持ち味を発揮しながら力を合わせ、勝利を目指し、団で作戦を立てながら練習してきました。所属するチームは、「足が速いから、遠くからスタートした方がいい」「力が強いから、前で引っ張ってほしい」など、自分の個性を生かそうと希望を伝えたり、友達から自分のよさを教えてもらったりしながら自分たちで決めました。本番が近付くにつれ、力強く綱を引く方法を調べ、実際に綱を引っ張ってアドバイスし合い、団のリーダーを中心に声を掛け合いながら本気で練習する姿が見られました。本番で勝敗はつきましたが、どの団も協力しながら最後まで全力で戦うことができました。

また、総合的な学習の時間に大豆の学習を行っています。「給食に毎日大豆が出ているなんて知らなかったな」「大豆は普通の豆だと思っていたけれど、いろいろな食べ物に変身していてびっくりした」「肉に負けない栄養があってすごい」と大豆に興味をもった子供たちです。「大豆がどうやって変身するのか知りたい」「大豆を育て、いろいろな食べ物を作ってみたい」などの子供たちの思いを大切にしながら、2年生で野菜を育てた経験を生かして大豆を育て、大豆食品を作る予定です。これから子供たちの追究が本格的に始まります。本や端末で調べたり、人に聞いたりするなど、様々な方法を選択しながら問題解決していきます。一人一人の「なぜ?」を大切にしながら、最後までやり遂げられるように、担任一同で支援していきます。

(3年担任)

